



## 服装や保護を目的とした装具に関する規定

IHF国際ハンドボール連盟（2017年7月発表）を基準とする  
全日本大会では実施：ブロック、都道府県協会では推奨とする



### 1 頭部や顔への装具

2019年3月1日（公財）日本ハンドボール協会競技本部 審判委員会

品目	例	国内	国際	条件
① マスク		可	不可	IHFではマスクは使用できない 国内大会では、表情が読み取れ、柔らかい素材であれば、主催者の判断で使用を認める。
② ヘルメット		不可	不可	ヘルメットは使用できない
③ 鼻の保護		可	可	柔らかく、単色で、テープ式のもの

### 2 ヘアバンド

例	国内	国際	条件
	可	可	ゴムバンド式で、薄く、幅広くないもの
	不可	不可	ゴムバンド式でないもの、厚手のもの、幅広いものは使用できない ※はちまきは伸縮性でなく、結び目から垂れた部分が危害を及ぼす可能性がある。国内では、主催者が、使用に支障がないと認めれば、使用を認める。

### 3 めがね・ゴーグル

例	国内	国際	条件
 	可	可	スポーツめがねやゴーグルは、スポーツ用のバンドがあり、平らなプラスチックレンズで、フレーム上部がシリコンなど柔らかい材質であること
 			
	主催者が規定	不可	IHFではスポーツめがねやゴーグルであっても、フレーム上部が固い材質のものは使用できない。 国内では、主催者が、使用に支障がないと認めれば、使用を認める。
フレームが固い材質（バンド付）			

### 4 マウスピース

例	国内	国際	条件
	可	可	透明であり、単色のマウスピースは使用できる
 	不可	不可	不透明や、複数の色のマウスピースは使用できない
			

## 5 肩の保護やアームスリーブ

品目	例	国内	国際	条件
① 肩の装具		可	可	肩の装具は、やわらかく、薄手の材質であれば使用できる。色は問わない。
② アームスリーブ		可	可	アームスリーブはユニフォームの大部分を占めている色と同色か、類似の色であれば使用できる。

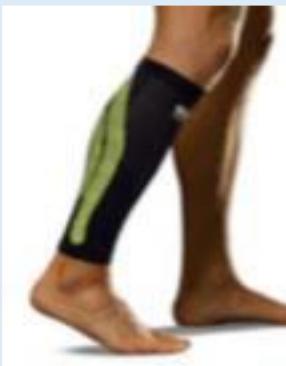
## 6 肘の装具

品目	例	国内	国際	条件
① 肘あて	  	可	可	薄くて柔らかい材質であれば使用できる。色は問わない。
② 肘あて (3カ所に パットがつ いている)		可	可	3カ所に保護のためのパットがついている肘あては使用できる。パット部分はエンボス加工されており、肘が床を滑る際に適した構造になっている。
③ ネオプレン (合成ゴム の肘あて： 1枚のパッ ト)		可	可	広い1枚のパットを用いたネオプレンの材質の肘あては使用できる。パット部分はエンボス加工されており、肘が床を滑る際に適した構造になっている。
④ 肘の サポーター		可	可	薄くて柔らかい材質であれば使用できる。色は問わない。固い部分がすべて柔らかいもので覆われており（相手に危害を加えなければ）使用できる。
⑤ 肘の装具		不可	不可	固い部分がむき出しになっている装具は使用できない。

## 7 膝の装具

品目	例	国内	国際	条件
① 膝 サポーター		可	可	柔らかい、薄手の材質であれば使用できる。色は問わない。 固い部分がすべて柔らかい素材で覆われており、相手に危害を加えない と判断できれば使用できる。
② 膝 サポーター (1枚の パット)		可	可	広い1枚のパットで保護目的であれ ば使用できる。
③ ネオプレン (合成ゴム の膝サポー ター ：1枚の パット)		可	可	広い1枚のパットを用いたネオプレ ンの材質の肘あては使用できる。 パット部分はエンボス加工されてお り、膝が床を滑る際に適した構造に なっている。
④ 膝の装具		不可	不可	固い部分がむき出しになってい る装具は使用できない。

## 8 ふくらはぎの装具

例	国内	国際	備考
		可	可 ふくらはぎへの装具は、靴下と同色であれば使用できる。
		不可	靴下の色と一致しないふくらはぎへの装具は使用できない。

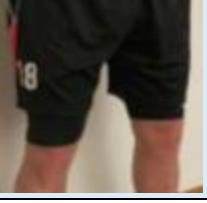
## 9 足首の装具

品目	例	国内	国際	条件
① 足首の装具		可	可	固い部分がすべて柔らかいもので覆われており、相手に危害を加えなければ使用できる。 国内大会では、靴下と同色でなくとも使用を認める。IHFでは装具や覆うためのテープは靴下と同色とする。
② 足首の固定具		可	可	固い部分がなければ使用できる。 国内大会では、靴下と同色でなくとも使用を認める。IHFでは装具や覆うためのテープは靴下と同色とする。
③ 足首の装具		不可	不可	固い部分がむき出しになっており、靴下と色違いの装具は使用できない。

## 10 服装

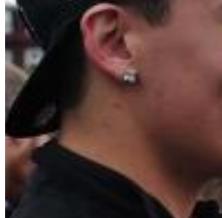
<概要>

- (ゴールキーパーを除いて) 長ズボンは使用できない。
- 4カ所 (短パン+膝の装具+ふくらはぎの装具+靴下) の使用は許可される。しかし、それが分かれていること。
- アームスリーブは **ユニフォームの大部分を占めている色と同色** であれば使用できる。
- サイクリングパンツも **短パンの大部分を占めている色と同色** であれば使用できる。
- ふくらはぎの装具は、**靴下と同色** であること。
- 足首の装具は、**靴下と同色** であること。 (国内では、**同色でなくてもよい**)
- 肘や膝の装具は色は問わない。

品目	例	国内	国際	条件
① スポーツ用 ヘッズ カーフ		可	可	単色のスポーツヘッズカーフは使用できる。複数の選手がヘッズカーフを使用する際は、全員が同色であること。
② スポーツ用 ではない ヘッズ カーフ		不可	不可	スポーツ用ではないヘッズカーフは使用できない。
③ 長袖のアン ダーシャツ		可	可	ユニフォームの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
		不可	不可	ユニフォームの大部分を占めている色と異なる色は使用できない。
④ サイクリン グパンツや ウォームパ ンツ		可	可	短パンの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
		不可	不可	短パンの大部分を占めている色と異なる色は使用できない。

品目	例	国内	国際	条件
		可	可	ゴールキーパーは、長ズボン、長タイツ、短パン、短パンとサイクリングパンツなどを使用できる。
⑤ 長ズボン	  	不可	不可	コートプレーヤーは、長ズボン、タイツ、長いサイクリングパンツ等は使用できない。
⑥ 靴下		可	可	靴下は同色で同じ長さを基本とする。
⑦ 上着	 	可	可	ゴールキーパーとなるコートプレーヤーはゴールキーパーと同一のものを使用する。穴を開ける場合は前後の番号の位置、透明なカバーをつけて穴を開けない場合も可能。 国内では従来のビブスに穴を開けたものの使用を従来通り認める。

## 11 アクセサリー

品目	例	国内	国際	条件
① イヤリング ピアス		可	可	小さいイヤリングやピアスは完全にテープで覆わっていれば装着できる。
		不可	不可	完全にテープで覆われていないイヤリングやピアスは装着できない。
② ヘアピン		可	可	柔らかい素材でできているヘアピンは使用できる。金属やプラスティックのヘアピンの場合は、完全にテープで覆わっていれば使用できる。
③ キャプテン マーク		可	可	単色のものであれば使用できる。
④ 短いリスト バンド		可	可	短いリストバンドは粘着性がなく、柔らかく、薄手のものであれば使用できる。
⑤ 長いリスト バンド		可	可	短いリストバンドは粘着性がなく、柔らかく、薄手のものであれば使用できる。長いリストバンドはユニフォームの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。

品目	例	国内	国際	条件
⑥ 手首の装具		可	可	固い部分が覆われていれば、手首への装具は使用できる。
⑦ 手袋 グローブ		不可	不可	<p>コート上で手袋やグローブは使用できない。ゴールキーパーも同様である。</p> <p>交代地域での防寒具としての使用は認める。</p>
⑧ フィンガーバンド		不可	不可	フィンガーバンドは使用できない。
⑨ 靴への 松ヤニ		可	可	<p>靴に限り松ヤニをためておくことができる。そこから指へ補充する。</p> <p>他の部位に松ヤニをためおくことはできない。</p>
<p>※ただし、会場使用上の条件によっては、靴への松ヤニを認めない場合もある。</p>				